

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程入学試験

【乳がん看護分野】筆記試験 過去問題

問題1 次の問題の文章を読み、○か×を選びなさい。

【問1】妊娠期の乳がんは予後不良である。

【問2】マンモグラフィ検診では、高濃度乳房は検診精度の低下の原因ではない。

問題2 次の問題の文章を読み、適切な答えを1つ選びなさい。

【問3】生存率の説明について、正しいのはどれか。

- ① 診断から一定期間後に生存している確率である。
- ② 治療効果を判定する際の指標にはならない。
- ③ そのがんの成長の早さには関係しない。
- ④ 計算する対象の選び方からは影響を受けない。

【問4】手術療法を受けた乳がん患者の看護について、適切でないのはどれか。

- ① センチネルリンパ節生検を受けた場合には、リンパ浮腫予防指導を行う。
- ② 術後ドレーンからの排液を促すために、術後1日目から肩関節の回旋運動を促す。
- ③ 乳房切除後疼痛症候群が続く場合、鎮痛薬や抗けいれん薬、オピオイドを使用する。
- ④ 仕事への復帰は治癒経過が良好な場合、早期復帰が可能であることを伝える。

【問5】乳房再建術のケアについて誤っているのはどれか。

- ① エキスパンダー挿入後は、ワイヤー入りのブラジャーを使用する。
- ② 禁煙を継続できるように指導する。
- ③ 術直後に出現する腫脹や内出血の変化などは、徐々に落ち着くことを説明する。
- ④ エキスパンダー挿入後は、一時的に上肢の挙上制限がある。

【問6】乳がん術後の上肢リンパ浮腫の日常生活指導で、正しい組み合わせはどれか。

- a 予防の基本は皮膚を傷つけないこと、患肢を疲労させないことである。
- b スキンケアは、国際リンパ学会の病期分類Ⅰ期の段階から継続して行う。
- c センチネルリンパ生検でリンパ浮腫は発症しないと説明する。
- d 患側を傷つけた場合は、流水で流して清潔にするように説明する。

- ① a、b ② a、d ③ b、c ④ c、d

【問7】内分泌療法中の閉経前乳がん患者への看護について、誤っているのはどれか。

- ① 帯下の変化や膣の乾燥に対し保清を勧める。
- ② 月経の有無に関わらず避妊の指導を行う。
- ③ 年に1回骨密度の検査を受けるよう指導する。
- ④ 子宮体がんへの不安に対する心理的サポートを行う。

【問8】術前化学療法について、誤っているのはどれか。

- ① 術後化学療法と同等の予後改善効果が得られる。
- ② 乳房温存率が高くなる。
- ③ 治療効果の評価ができる。
- ④ 術後に化学療法を行わない。

【問9】薬剤と副作用の組み合わせで、正しいのはどれか。

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| ① オラパリブ（リムパーザ®） | － | 色素沈着 |
| ② エリブリンメシル酸塩（ハラヴェン®） | － | 浮腫 |
| ③ エベロリムス（アフィニートール®） | － | 口内炎 |
| ④ ドキソルビシン塩酸塩（アドリアシン®） | － | 末梢神経障害 |

【問10】転移・再発乳がんについて、正しいのはどれか。

- ① 温存乳房内の再発は領域再発という。
- ② 手術後20年経過すれば再発の可能性がなくなる。
- ③ 予後はサブタイプで異なる。
- ④ 治療選択において家族の希望を考慮する。